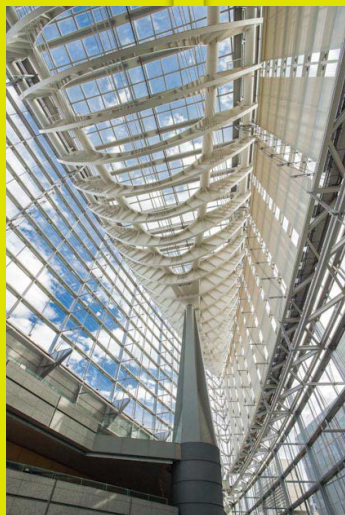
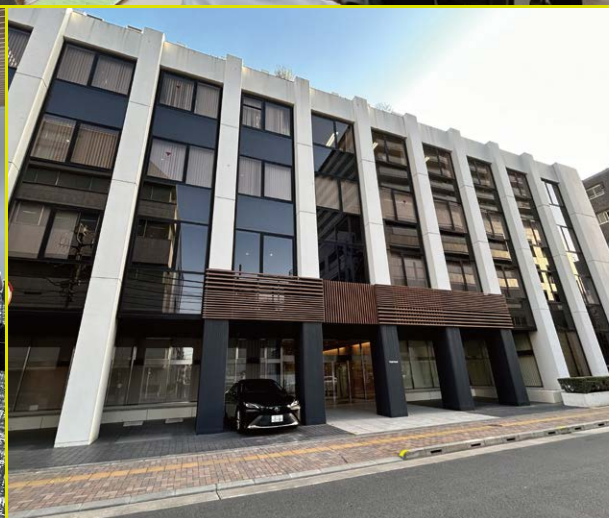


木耐協 マンスリーレポート

2024.10
vol.
310



◀ 初日の会場は東京国際フォーラム



◀ 2日目はTOPPAN秋葉原ショールームにて開催

特集 **真夏の研修会2024開催報告**

特集 『リフォーム産業フェア2024』
誌上レポート

今号の表紙 8月20日(火)～21日(水)に「真夏の研修会2024」を開催しました。初日は東京国際フォーラムにて、「耐震&リフォームDAY」というテーマで、東京大学名誉教授の平田先生による能登半島地震や南海トラフ地震臨時情報に関する解説や組合員の市原建設 市原社長による能登半島現地視察の報告が行われました。また、2日目はTOPPAN秋葉原ショールームで、「デザイン&トレンドDAY」と題してデザインの移り変わりや建材への影響について学びました。当日の様子を特集にてお伝えします。



日本木造住宅耐震補強事業者協同組合



〔特集〕

真夏の研修会2024

開催報告

今年のテーマは
地震とデザインの2DAYS

今年は東京で2日間の対面形式で開催！

毎年8月下旬に開催している『宿泊研修会』の開催形式を変更し、2日間の『真夏の研修会』として8月20日(火)～21日(水)に東京で開催。全国からのべ約90人の組合員様にご参加

いただきました。講演だけでなく、懇親会での情報交換など横のつながりを深めた2日間となりました。今回の特集では、当日の模様にご参加いただいた組合員様の声をご紹介します。

文：伊藤健三

開催概要

初日 — 8月20日(火) 13:30～17:00 / 17:30～懇親会
東京国際フォーラム ガラス棟
2日目 — 8月21日(水) 9:00～12:00
TOPPAN株式会社 ショールーム

開
会
の
ご
挨拶



木耐協 理事長
小野秀男

「住宅リフォーム推進協議会が毎年発行している『住宅リフォームガイドブック』に耐震に関する相談先として木耐協が掲載され、とても感激しました。これもひとえに皆様が真剣に耐震化に取り組んでいただいたことが評価されたのだと思います。これからは真摯に耐震社会の構築に取り組んで参りましょう」と挨拶しました。

DAY2 デザイン/トレンド & これからの住生活産業

8月21日(水)



SNSがデザイントレンドに与える影響!? 日本の住宅トレンドの変遷とミラノの最新情報

TOPPAN株式会社 環境デザイン事業部
マーケティング戦略本部
デザインコミュニケーション部
C-labソリューションチーム チームリーダー 長谷 隆 氏

▶「トレンド=ニーズであり、多くの人が必要と認めない限り、トレンドは生まれません。また、トレンドは単純に繰り返すだけではなく“深化”する。37万人以上が参加する国際家具見本市『ミラノサローネ』の視察を毎年行い、デザイントレンドを研究し建装材に反映させてきました。これからはSNSでの流行がトレンドにつながるため、SNSのチェックも重要です」と解説していただきました。



デザインが未来の住宅資産価値を創る 消費者が選ぶリフォームデザインと技術力

清水英雄事務所株式会社 代表取締役社長
清水大悟 氏

▶今後の法改正のポイントや押さえておきたいキーワードを元に、これからの住生活産業について解説していただきました。「これからは介護施設に入れないため、在宅介護が当たり前の時代を迎える。省エネ性能も含めて、そうした先を見据えた資産価値が保たれた住宅作り・提案が事業者には求められている」と、お話ししていただきました。



▲TOPPANが手がけるリフォームポータルサイト「リフォトル」についてご説明いただいた、近藤聡介氏(左)、柿津里紗子氏(右)

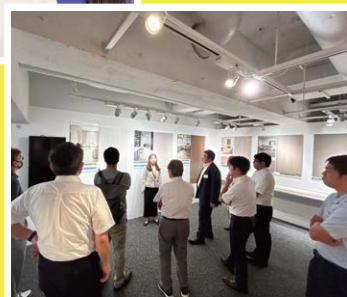


▲TOPPAN(株)生活・産業事業本部環境デザイン事業部 第一営業本部 第三部2チームチームリーダー 村田 陽氏にご挨拶いただきました



ショールーム見学会

TOPPANのショールームを見学しました。ミラノサローネからみるトレンドの変遷や建材のカラートレンドの変化、最新の建装材などを知ることができました。



お酒を飲み交わしながら 親睦を深めた懇親会



▲乾杯のご発声いただいた中澤顧問



▲鈴木顧問にもご挨拶いただきました

木耐協では対面の研修会も引き続き開催して参ります。

次は秋からスタートするエリアミーティング。ぜひご参加ください!

DAY1 地震 & リフォーム

8月20日(火)



リフォーム業界最新成功事例紹介 / 多様化する時代では何が本当に必要なのか?

リフォーム産業新聞社 取締役報道部長
福田善紀 氏

▶リフォーム業界で今成功している会社の事例を取材時の裏話も交えてお話ししていただきました。業務に直結する内容でもあり、組合員様も真剣な眼差しで聴講されていました。「日本のリフォーム市場は海外に比べるとまだまだ伸びしろがある。これからは事業者側から自分らしい住まいの価値を伝えることで市場を活性化できると考えています」と今後の業界への言葉で締められました。



能登半島地震など、最近の地震を経験して、今後の巨大地震に備える

(一社)防災教育普及協会 会長
東京大学名誉教授
平田 直 氏

▶「8月8日に『南海トラフ地震臨時情報』を発表し、呼びかけは1週間やめたが、安全な状態になった訳ではない。南海トラフや首都直下地震も、いつ起きるかは予知できない。しかし、ハザード(危険)は予測されている。防災リテラシーを高め、住宅の耐震化や発災時の動きについて準備しておくことが大切である」と、最新情報を交えて事前防災の必要性を伝えていただきました。



能登半島現地報告

株式会社 市原建設
代表取締役
市原 卓 氏

▶「4月下旬に能登半島の被災地に入りましたが、被害が広範囲なため、1車線確保がやっとの状態でした。主要幹線道路やライフラインの復旧が優先されるため、がれきの撤去が進まないのも無理はないと感じました。やはり耐震性を高める大切さをもっと伝えていきたいと思います」と現地の状況を事業者目線で率直に話していただきました。



最近の住宅リフォーム関連施策等について

国土交通省 住宅局住宅生産課
ストック活用係長
山本亮祐 氏

▶住宅リフォームに関する省エネ対策や既存住宅リフォームに対する様々な施策について、情報提供していただきました。「住宅ストックの活用では、耐震化が欠かせません。木耐協組合員の皆様にはこれからも住宅の耐震化と安全・安心なリフォーム市場での活躍を期待しております」と激励していただきました。

参加された組合員様のお声を一部ご紹介

能登半島地震の現地報告が大変リアルでした。いつ発生するかわからない大地震に備えて、安全な住まいを提案したいと思う研修会でした。

三光ソフラン(株) 滝澤 充 様

TOPPANの中長期の企業理念が垣間見えました。時代のトレンドや住宅に与えた影響を感じられ、感性が研ぎ澄まされました。

(株)村田設計事務所
代表取締役 村田 隆 様

最新の成功事例を参考に、社内にも共有して検討したいと感じました。また、日向灘や能登半島地震の講演を聞き、防災の大切さを再認識したので、耐震化を訴求していきたいと思っています。

(株)住まい工房 代表取締役
佐々木良典 様

やはり色々な知識や見聞を得る必要があると再認識しました。今後もセミナーや研修に積極的に参加していきたいと思いました。

栃木アシストホーム(株)
代表取締役
金子幸男 様

木耐協ブースにも
多くの事業者・組合員様に
お越しいただきました

木耐協ブース



木耐協が考える耐震事業のあり方や
研修サポート内容についてお伝えしました

木耐協ブースでは、耐震の資格「耐震技術認定者」や「住宅リフォーム事業者団体登録制度」をPRしながら、木耐協の加盟促進を呼び掛けました。能登半島地震の影響も大きく、「お客様からの問合せも多いので、本格的に耐震に取り組みたい」という事業者も多く、ご加盟いただけるようフォローアップして参ります。

新たに耐震に取り組みたい
という事業者が多く来場

セミナーには多くの方が熱心に聞き入っており、
気が戻ってきた印象を受けました。高熱断などの機能・快適性を高めるもの、DXやAIなどの便利さを求める
ブースが多くみられた一方で、昭和ガラス・70年代等、
既存のものを活かすブースも気になりました。

木耐協事務局 渥美

来場者が切れ目なく押し寄せてくる活況ぶりにと
も驚きました。それだけ新しい製品・サービスを求めている
事業者が多いということですので、木耐協もより魅力的な耐震の
研修やツールを提案していきたいと強く感じました。

木耐協事務局 伊藤

特集

リフォーム産業フェア2024

誌上レポート 来場者数過去最高を更新した熱狂の2日間

▶8月6日~7日の2日間、東京ビッグサイトで開催され過去
最高の1万4,391人が来場した「リフォーム産業フェア
2024」に出展しました。来場者が多く通路が人で埋め尽
され、歩きにくいほどの盛況ぶりでした。また、セミナーも多
くの会場で立ち見ができるほど賑わっていました。今回の特集
では盛り上がった展示会の様子を誌上レポートいたします。

文：伊藤健三



写真提供株式会社リフォーム産業新聞社

リフォーム産業フェア2024 (第26回)

テーマ……住宅マーケット大転換期へ
変わる暮らしと変わるリフォーム
主催……リフォーム産業新聞
(同時開催 賃貸住宅フェア / 住まい×介護×医療展)
会期……2024年8月6日(火)・7日(水)
10:00~17:00
会場……東京ビッグサイト 西3・4ホール



メーカー賛助会員様

来場者・出展者が参加
できる「夜会」が昨年にな
り続き今年も開催されま
した。受付で配られた札
ごとにグループに分かれ、
その場で名刺交換を行い
ました。お酒と軽食を交
えながら様々な人と交流
できるイベントでした。

立食パーティ形式「夜会」
300名の事前申込枠が埋まる



組合員様向けに製品
やサービスをご提供いた
だいているメーカー賛助
会員様も多く出展され
ていました。気になる
サービスがございましたら
事務局までご連絡く
ださい。

木耐協
メーカー賛助会員様も
多数出展されていました!



▲(株)コンピュータシステム研究所様
住宅営業支援システム
「ALTA Revolution」



▲業務提携をしている
ペットライフスタイル(株)様



▲タウンライフ(株)様
ポータルサイト
「townlife リフォーム」

▶(株)ダンドリワーク様
施工監理・現場監理アプリ
「ダンドリワーク」

これからも展示会出展も行いながら
組合活性化に取り組んで参ります!



▲無料のセミナーも活況で
二重三重の立ち見客が
熱心に講演を聴講していました



会場内も黒山の人だかり!
有料セミナーもほぼ完売

◀実演デモには特に
多くの人が集まっていた



日時	セミナー名称	講師	参加費
8/6 (水)	セミナー-会場1	...	無料
	セミナー-会場2	...	無料
	セミナー-会場3	...	無料
8/7 (木)	セミナー-会場1	...	無料
	セミナー-会場2	...	無料
	セミナー-会場3	...	無料

▲有料のセミナーもほぼ完売しており、
人気の高さが一目瞭然



▲「キッチンワールド・水まわりコレクション」
というコーナーでは高級路線のキッチンが大集合

耐震に関する相談や質問について、技術的な根拠となる資料を元に回答しております。本紙面で以前掲載した内容から特にお問い合わせの多い質問事項について、木耐協「技術向上委員会」の見解も交えてご紹介します。

今月のテーマ

耐震補強する壁内の梁に 継手があった時の対応方法

今月のポイント

段違いになっている梁は
継手が弱点となる
補強梁を追加し、高さを合わせて
固定し、一体化させる

Q 補強するために解体した箇所の壁内の梁に
継手があった場合の注意点を教えてください

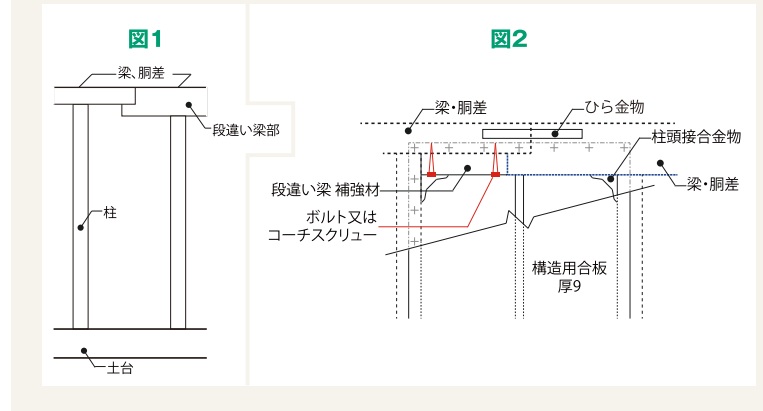
A 耐震補強工事は新築と違い、既存の壁を解体しなければ軸組みの状態を確認できない為、想定しなかった事象に遭遇することがあります。今回は、補強する壁内の梁に継手があった場合の対応方法をご紹介します。

補強する壁内の梁に継手があり、梁が段違いになっているケースは多々あります(図1)。梁が段違いになっていると、耐震補強しても継手が弱点となります。

【補強方法】

継手がある場合は、梁せいの大きい方に合わせて、補強梁を追加します(図2)。梁の高さを合わせることで、構造用合板や筋かいが取り付けやすくなります。この際、構造用合板は、補強梁と既存の梁まで張り上げる必要があります。

補強梁は、ボルトまたはコーチスクリューでしっかり固定してください。また、継手部分には、必ずひら金物など梁の離れ防止となる金物を取り付けてください。



出典：
一般財団法人
日本建築防災協会 発行
「木造住宅の耐震補強の実務」
p.59



出典：
建築技術 発行
月間「建築技術」2012年8月号
p.122-123



木耐協技術部 | 駒井隆広

埼玉県生まれ。2級建築士。2012年より木耐協の技術担当。耐震技術認定者講習会や耐震診断・補強設計研修会など組合の研修で講師を務める。

技術的な
質問や相談を
お送りください

Mail mts@mokutaiikyo.com

Tel 048-224-8316 (木耐協事務局)

住宅コンサルタント清水大悟が解説！

これから
どうなる？

住宅産業界

なぜ在宅医療・介護なのか？

医療従事者や介護人材の不足が続いており、2030年以降は救急車の到着遅れも懸念されています。住宅内での医療・介護・健康の重要性が高まり、設計対応が求められます。

設計デザインの重要性

資産価値を維持するためには、需要とデザイン性が鍵となります。日本のバリアフリー設計はデザイン性に欠ける一方、欧州では使いやすさと高いデザイン性を兼ね備えた設計基準が導入されています。イギリスのライフタイムホームズなどの設計基準は、年代に関わらず安心・安全に暮らせるよう工夫されています。日本の住宅も今後は新築至上主義からの転換が求められるでしょう。

No.37

在宅介護・ 在宅医療の時代

在宅医療・在宅介護の時代

資産価値を保つ住宅には、性能だけでなく需要に応じた設計対応が求められます。2025年の省エネ基準適合義務化や4号特例縮小などの施策により、住宅性能の底上げが進みます。性能差別化が高度化する中、断熱等級6・5を

基盤とした商品開発が各社で進行中です。性能向上は新築でもリフォームでも同様であり、今後の重要な差別化要素は「高齢化社会」です。高齢化率が2040年まで

上昇することを考慮し、住宅に医療・介護・健康の要素を組み込むことが重要となります。

【ポイント】

- 今後の新築・リフォームは
高齢化社会への対応が重要
- 性能と設計の両立、設計の勉強が必須
- デザイン性が重要、
単なるバリアフリーは売れない可能性

〒114-0011 東京都北区昭和町1-9-18 ☎03-3810-1565
清水英雄事務所WEB > <https://au-shimizu.co.jp/>

プロフィール

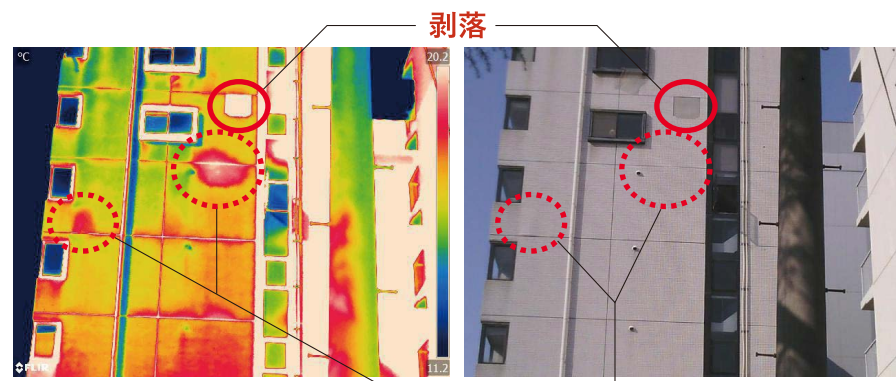


清水 大悟

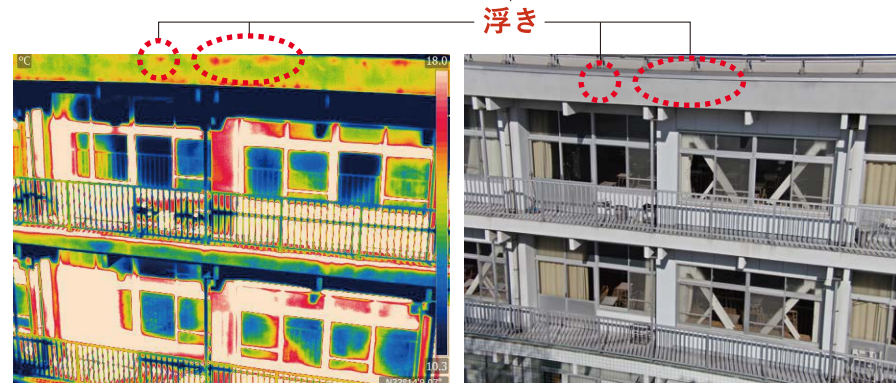
事業・経営コンサルティング
清水英雄事務所株式会社
代表取締役社長

Twitter, Instagramなど
SNSで情報発信中





【画像1】タイル外壁浮き部の画像



【画像2】コンクリート吹付塗膜浮き

赤外線外壁診断の市場と技術者の状況

赤外線診断は、壁面の温度変化が生じる環境下での撮影が必要です。原理はシンプルですが実際の診断には難しさがあります。壁の温度上昇

赤外線サーモグラフィの活用で外壁の浮き部を判断

外壁調査は従来、目視・打診等により実施されてきました。赤外線診断は、それらと同等の精度で判別できます。【画像1】のように目視ではわからず、打診も届かないような剥落箇所も鮮明な画像によって発見することが出来ます。また、診断依頼者にも分かりやすい画像で判断可能のため、納得度が高く、信頼獲得にもつながります。

そこで、赤外線診断技術を身に付けた建築事業者の人による診断が求められています。私共は、これからも適正な赤外線診断技術者の養成に尽力し、健全な市場形成に貢献していきたく考えています。

度合、劣化部の状況、壁面の構造などにより、誤った画像も撮影できてしまうのです。そのため、正しい専門知識と適切な経験の積み重ねによる高精度の診断技術習得が必要となります。

ドローンの普及によって赤外線外壁診断市場は活性化され拡大傾向にあります。適正な診断精度を保有する技術者は多くはありません。建築系の経験が無く、赤外線技術の未熟な診断者の増加もあり、適切な診断ができていない市場になっていると危惧されています。

赤外線

建物診断講座

サーモグラフィで
建物の状況を可視化

第2回

赤外線サーモグラフィを 活用した外壁劣化診断

本講座では、赤外線サーモグラフィを活用した建物診断について解説いたします。第2回は、赤外線サーモグラフィを活用してどのような外壁劣化診断ができるかのご紹介です。

赤外線診断に関するご相談・お問合せはこちら

一般社団法人
TERS 街と暮らし環境再生機構
Town and living Environment Reproduction Society

担当 青木、中嶋 ※お問合せの際は「木耐協マンスリーレポートを見た」とお伝えください。

Phone 044-201-7411 | E-mail info@ters.or.jp

<http://www.ters.or.jp>

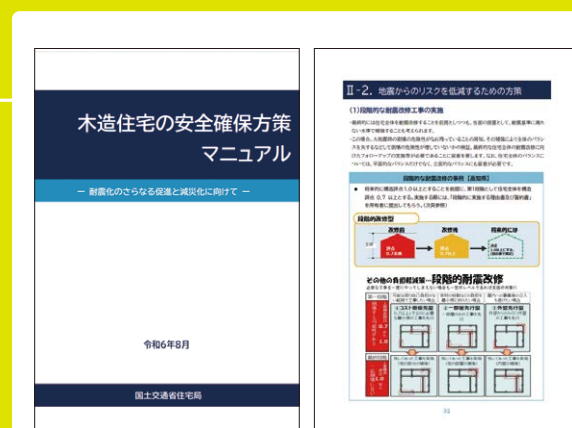
News & Topics

国土交通省 『木造住宅の安全確保方策マニュアル』を公表

国土交通省は、『木造住宅の安全確保方策マニュアル』を公表しました。令和6年能登半島地震を受け、住宅の耐震化をさらに進めるための方策とともに、やむを得ず本格的な耐震改修等を行うことができない場合でも、地震からのリスクを低減することが考えられる方策を取りまとめたものです。高知県の「段階的な耐震改修」など、様々な事例も紹介されています。ぜひチェックしてみましょう。

「木造住宅の安全確保方策マニュアル」の公表

https://www.mlit.go.jp/report/press/house06_hh_000234.html



シ道

資格は武器になる

視野や知識を広げ、
お客様への提案に役立つ
資格をご紹介します。

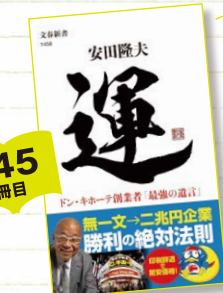
▼2025年4月に新築住宅の「省エネ基準適合」が義務化されます。さらに2050年カーボンニュートラル実現に向け、設計者だけでなく営業でも省エネや脱炭素の基本知識は求められており、身につけることでお客様への提案の幅にも広げることが可能です。

▼省エネ・脱炭素エキスパート検定はビル分野・家庭分野の2種あり、家庭分野は、家電製品や住宅の省エネ普及に関する知識や実践方法を総合的に学ぶことができます。

第11回 省エネ・脱炭素エキスパート 検定【家庭分野】

- ▶ 受験資格：なし
- ▶ 資格取得費用：検定料9,900円(税込)
家庭分野公式テキスト3,850円(税込)
※テキスト代は検定と同時申込の場合のみの特別割引価格
- ▶ 試験月・形式：随時。IBT検定(インターネットに接続したパソコンで試験を行う)
- ▶ 認定試験の受検期限：決済完了時から150日以内(約5ヵ月)
- ▶ 管理団体：一般財団法人省エネルギーセンター
<https://www.eccj.or.jp/expert/>





2兆円企業創業者による
経営参考書

Book

今号の理事長オススメはこの一冊！
『運 ドン・キホーテ創業者「最強の遺言」』



パンパシフィック・インターナショナルホールディングス(PHI)と聞いてもピンと来ないかも知れませんが、ディスカウントショップ「ドン・キホーテ」を運営している会社で、著者は創業者会長兼最高顧問です。そのドン・キホーテは1989年の1号店を東京府中市にオープンして以来、35年間で2兆円企業に成長しています。何より凄いのは、36期連続の増収増益を継続している点です。25年6月期の連結決算は売上高が2兆2200億円、営業利益1500億円を予定しています。小売業で2兆円を超えている企業は「セブンイレブン」「イオン」「ユニクロ」「ヤマダ電機」(全て略称)で、日本であつた5社のみです。

人が亡くなったたり、社長の安田氏も強気で対応をしていた為に、余り良い印象を持っていない方もいると思います。その後は一切マスコミに登場しなかった安田氏が、「最強の遺言」と自ら称し上梓した新書です。内容を要約すれば「運」には「個人運」と「集団運」とが有り、双方の運を下げないよう努力する事が肝要だと言います。そして「個人運」は自分自身でコントロールが可能であり、運を良くする行為と悪くする行為を見極めて行動する事。また、「集団運」を上げるには、そのリーダーの能力を見極める事が一番大事だが、その能力とは「人格」に勝る能力は無いと言いつつ、格に勝る能力は無いと言いつつも、他にも、精神論ではなくロジックな解析も多くあり、とても内容の濃い経営の参考書だと感じました。正に無一文から2兆円企業を創った男の「最強の遺言」でした。

『運 ドン・キホーテ創業者「最強の遺言」』
著者／安田隆夫
発行／文春新書
価格／720円(税別)

本の内容とは関係ありませんが、私自身が信じる、運を成果に結び付ける要諦は、「自分は最強運の持ち主なんだ」と信じ込んで、常に真摯に勉強する事だと、改めて確信しました。

事務局通信

●編集後記●
車齢が10年を迎えるタイミングでマイカーを買い替えました。最初は中古車で検討したものの中古価格が高止まりしているため、コスパが良い新車を購入という思いがけない展開に。ベースグレードですが、運転支援・ナビ・加速のスムーズさ何もかもが別次元で、運転が楽になりました。大切に乗りこなそうと思います。(伊藤)

🔗 10月に第4回木耐協オンラインセミナーを開催します
第4回木耐協オンラインセミナーを開催します。元NHK解説委員の山崎先生には、阪神・淡路大震災から能登半島地震までを振り返り、住宅の耐震化についてご講演いただきます。また、NPO法人で動物防災に取り組まれている金巻様には、ペットを飼う人に向けた日頃から取り組める防災対策にお話いただく予定です。
今年最後のオンラインセミナーとなります。組合員の皆様はもちろん、お客様へのご案内や一緒に視聴&相談会など、ぜひご利用ください。

<p>日時：10月26日(土) 10:00～12:00 参加費：無料</p> <p>申し込み・詳細</p>	<p>『住宅耐震化の新たな課題』 繰り返される被害を防ぐ</p> <p>山崎 登氏 国土大学防災・ 救急救助総合研究所 名誉教授 / (一社)防災教育普及協会 理事</p>	<p>ペット防災は 日常の居場所から考える ～いつもを良くしてもしもに備える～</p> <p>金巻とも子 氏 NPO法人アナイス 環境部会理事 / 一級建築士事務所 かねまき・こくぼ空間工房</p>
---------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

発行 ● 国土交通大臣認可法人 **日本木造住宅耐震補強事業者協同組合**
 発行人 ● 小野秀男 編集 ● 関 励介、伊藤健三、渥美寿子
 所 在 ● 東京都千代田区麹町2-2-31 麹町サンライズビル4階 tel 03・6261・2040 fax 03・6261・2041

木耐協メーカー賛助会員様からのご案内



耐震補強からリノベーションを
わかりやすく提案

住宅営業支援システム
[アルタレボリューション]
ALTA
Revolution

「木耐博士N」のデータを取り込み、リノベーション・新築の契約をすばやく獲得。



無料デモ実施中! こちらのQRよりお申込みください
株式会社 コンピュータシステム研究所 www.cstnet.co.jp
[建築事業部] 〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町6-1 [TEL] 03-3350-4686

信用度アップ↑ 受注力アップ↑ 住まいのハウズドクター 耐震技術認定者 資格活用術



▶全国で活躍している耐震技術認定者にフォーカスを当てる本コーナー。認定者資格を取得したメリットや耐震を通じたお客様とのエピソードをご紹介します。木耐協ホームページでは認定者の検索やインタビュー記事も公開しています。



第14回

豊田啓吾様

株式会社 秋田屋
(相模原市中央区)

認定者検索



インタビュー



Q 認定者資格を取得して変わったことはありますか

A 有資格者になったことで耐震診断書に資格名と共に名前を入れられようになったことです。また、診断法を理解したことで自ら耐震診断ソフトを使った診断も可能となり、業務の幅が広がりました。

Q 診断・補強で大変だったこと

A 補強工事中に旧公庫仕様の筋かいが入っていたことが分かり、予定していた金物が設置できないときは大変でした。診断結果を伝えるときは、不明なことを断言するようなことは言わずに、確認できた範囲で説明するようにしています。

Q 地震にまつわる思い出を聞かせてください

A 東日本大震災の時、交通機関が止まっていたため鶴見区役所で1泊しました。いどこで被災するかわからないと感じるとともに、安全・安心な暮らしを守れる住宅の耐震化はやはり大切だと思いました。

Q 耐震化への意気込みを聞かせてください

A 水廻りのリフォームを依頼された時、合わせて耐震性をチェックし耐震化を提案しています。綺麗になっても倒壊してしまえば元も子もありません。木耐協には耐震シェルターや家具の転倒防止金具といった安価な対策の推奨も検討してほしいです。



▲雨漏り・筋かいの確認



▶仕上げ材の厚み、間取り等の調査作業



▲基礎の調査